

■第1回（仮称）小牧市地域こども子育て条例検討会議グループ討議まとめ

こどもの夢やチャレンジを支えるために大人や地域でできること

第1回（仮称）小牧市地域こども子育て条例検討会議（平成27年5月27日開催）のグループ討議で出された「こどもの夢やチャレンジを支えるために大人や地域でできること」のうち、主な意見・提案をキーワードに要約しました。

1. こどもの夢・チャレンジとは？

- 将来やりたい仕事、なりたい職業。
- 時間を忘れてのめりこんでいくこと、夢中になること。
- 何かにチャレンジしていこうという気持ち・精神。
- 自分でできる、できたという自信。小さな成功体験の積み重ね。
- 自ら考えて行動していく姿勢。
- 県内で1番、国内で1番の小牧を目指すこと。
- 自分たちが住む小牧市の伝統・歴史・産業・自然などを知り、継承・発展していくこと。
- 海外で活躍したい。英語を習得したい。
- 新しいものを発明したい。
- お金持ちになりたい。
- 社会の役に立ちたい。

2. 大人や地域がなすこと、できることは？（大人や地域の姿勢や責務につながるようなキーワード）

※●印は、裏返して表現すれば（視点を変えれば）、こどもの「権利や責務」につながるようなキーワード

- 認めてあげること、共感してあげること、時間を共有してあげること。信じてあげること。
- 一人の人間として、こどもたちに向き合い、接すること。叱ること。
- お手伝い等の機会を家庭や地域でつくるなど。役立ち感（⇒自尊心）を育むこと。褒めてあげること。
- こどもたちが夢・チャレンジを表明する機会の創出。
- 夢やチャレンジを見守ってあげること。その前に、こどもたちがどんなチャレンジをしているのか、しようとしているのかについて、大人が興味・関心を持つこと。
- こどもの主体性や自立心・自律心の尊重。
- 子どもの成長段階に応じた継ぎ目のない夢・チャレンジの見守り支援。
- こどもたちが夢を持つまで（夢発見）のプロセスを見守り、応援すること。

- 好きなことや興味のあることを一緒に見つけること。
- 子どもたちがチャレンジしたいことの幅や可能性を広げる体験機会や多様なことに触れる機会を創ること。(生き方や仕事、スポーツ、ものづくりなどを見て・触れて・体験する機会)
- 大人や年長者（お兄さん、お姉さん）が半歩先を子どもに見せていくこと。
- 本物なモノ（芸術や文化、スポーツなど）やあこがれの人・一流の人（スポーツ選手やアイドル、シェフなど）との出会い・触れる機会の創出。
- こどもの「興味心」（好奇心）をかき立てる役割を持つ身近な自然環境の確保。
- 障がいのある子どもの将来的な自立生活を支援すること。

